



統計資料 27-21

平成28年3月31日  
統計課経済産業係  
027-226-2410 (直通)

2015年農林業センサス  
農林業経営体調査結果の概要  
(確定値・群馬県分)

群馬県企画部統計課



# 2015年農林業センサス結果の概要（確定値） （平成27年2月1日現在）

－ 農業経営体の減少が続く中で、法人化や経営規模の拡大が進展 －

## 1 農林業経営体

農林業経営体数（平成27年2月1日現在）は26,514経営体で、5年前に比べて20.0%減少した。

このうち、農業経営体数は26,235経営体、林業経営体数は880経営体となり、5年前に比べてそれぞれ19.4%、39.7%減少した。

図1 農林業経営体数（群馬県）

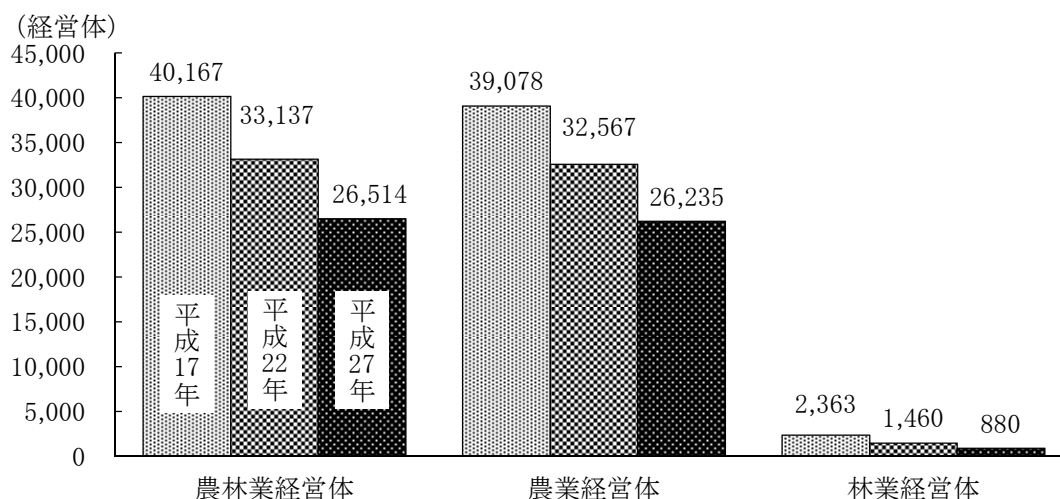


表1 農林業経営体数（群馬県）

区分	単位：経営体		
	農林業経営体	農業経営体	林業経営体
平成17年	40,167	39,078	2,363
22	33,137	32,567	1,460
27	26,514	26,235	880
増減率(%)			
平成22年/17年	△ 17.5	△ 16.7	△ 38.2
平成27年/22年	△ 20.0	△ 19.4	△ 39.7

注： 農業経営と林業経営を合わせて営んでいる経営体があるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

この統計調査結果は、群馬県統計情報提供システムの「随時公表の主要統計－農林業センサス」で御覧いただけます。  
【 <http://toukei.pref.gunma.jp> 】

## 2 農業経営体

### (1) 農業経営体数

農業経営体のうち、家族経営体数は25,693経営体で、5年前に比べて19.9%減少した一方、組織経営体数は542経営体で7.1%増加した。

表2 農業経営体数（群馬県）

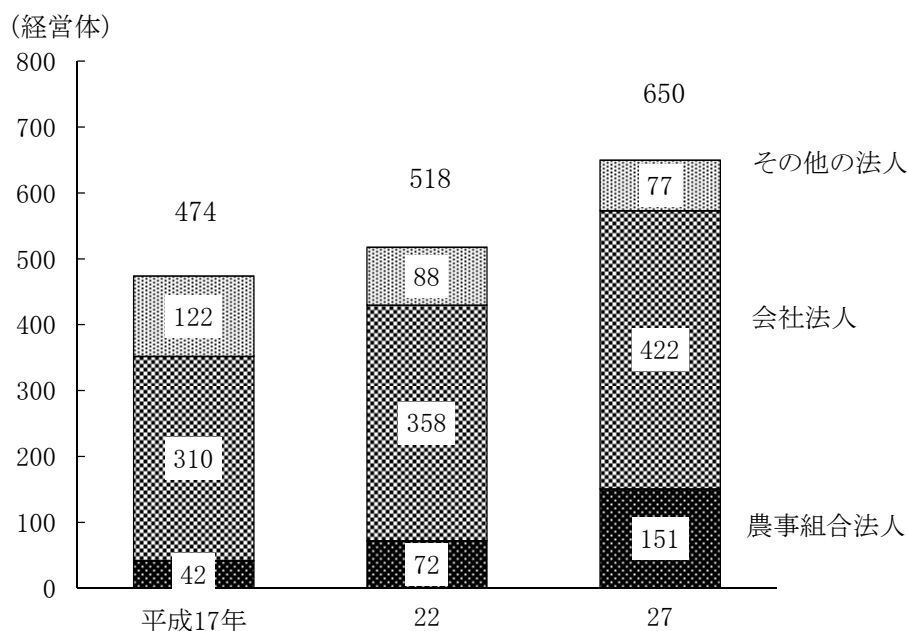
区分	単位:経営体					
	農業経営体		家族経営体		組織経営体	
		法人経営		法人経営		法人経営
平成22年	32,567	518	32,061	181	506	337
27	26,235	650	25,693	178	542	472
増減率(%)						
平成27年/22年	△ 19.4	25.5	△ 19.9	△ 1.7	7.1	40.1

注：法人経営には、農産物の生産・販売を行う法人の他に、農作業受託のみを行う法人が含まれる(以下、同じ。)

農業経営体のうち法人経営数は650経営体で、5年前に比べて25.5%増加した。特に、組織経営体の法人経営数は472経営体で、5年前に比べて40.1%増加した。この結果、組織経営体に占める法人経営の割合は87.1%となった。

また、法人経営の内訳をみると、会社法人数は422経営体、農事組合法人数は151経営体となり、5年前に比べてそれぞれ17.9%、109.7%増加した。

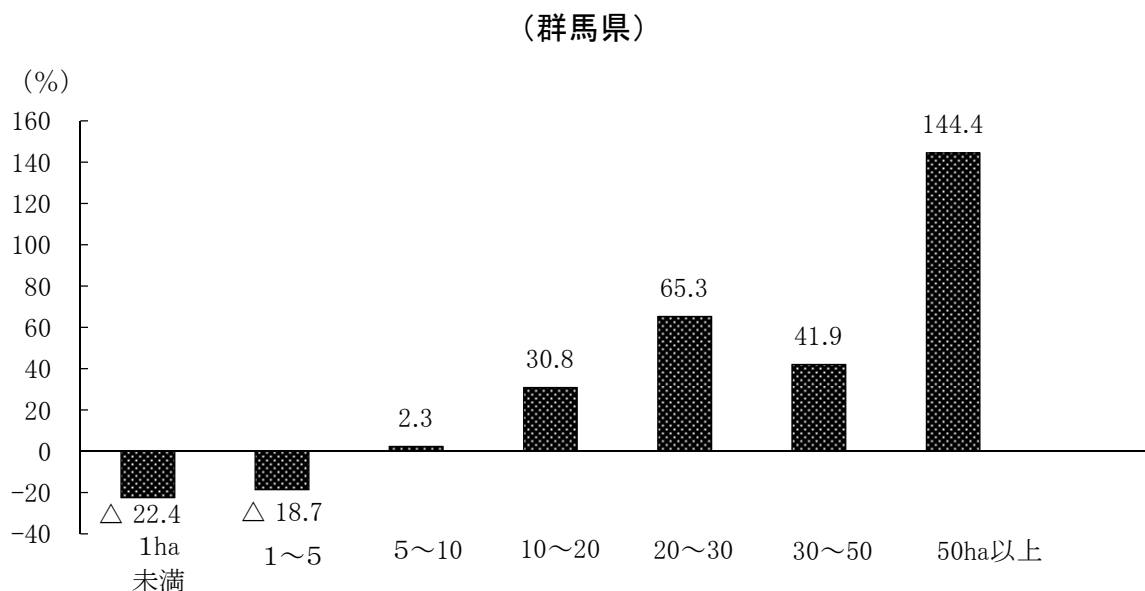
図2 法人化している農業経営体数（群馬県）



(2) 経営耕地面積規模別にみた農業経営体数の状況

経営耕地面積規模別に農業経営体数をみると、5年前に比べて5ha以上層で農業経営体数が増加した。

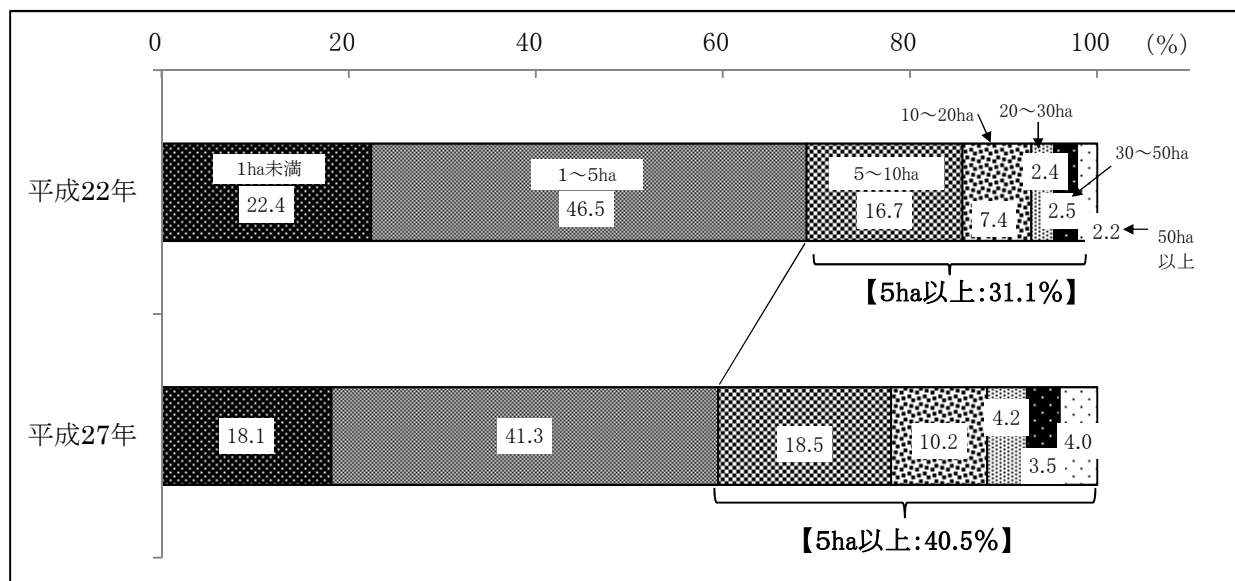
図3 経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率



(3) 経営耕地面積の集積割合

農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、5ha以上の農業経営体が40.5%を占め、5年前に比べて9.4ポイント増加した。

図4 経営耕地面積規模別の経営耕地面積集積割合（群馬県）



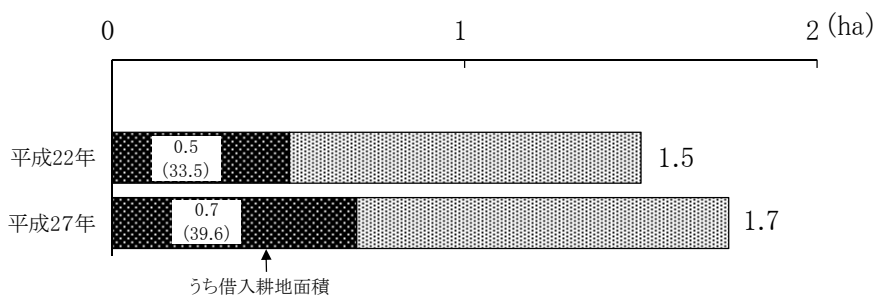
注： 四捨五入のため、計と内訳の積み上げが一致しない場合がある（以下、同じ。）。

(4) 農業経営体当たりの経営耕地面積の状況

経営耕地のある農業経営体の1経営体当たりの経営耕地面積は1.7haで、5年前に比べて16.5%増加した。

また、経営耕地面積に占める借入耕地面積の割合は39.6%となった。

図5 農業経営体当たりの経営耕地面積（群馬県）



注：（ ）内の数値は経営耕地面積に占める借入耕地面積の割合である。

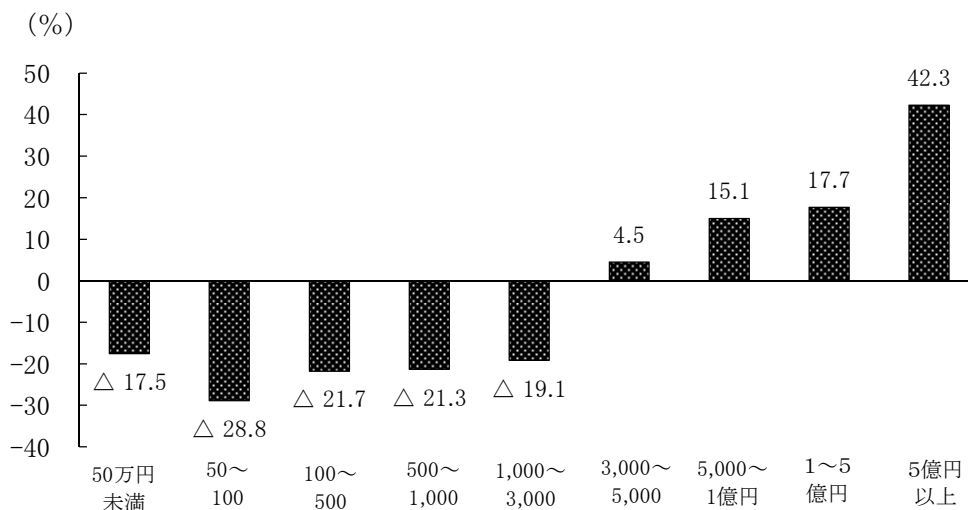
表3 農業経営体当たりの経営耕地面積

区分	単位:ha			
	全国	北海道	都府県	群馬県
平成22年	2.2	23.5	1.6	1.5
27	2.5	26.5	1.8	1.7

(5) 農産物販売金額規模別にみた農業経営体数の状況

農産物販売金額規模別に農業経営体数をみると、5年前に比べて3,000万円以上層で、規模が大きくなるにしたがって増加率が高くなっている。

図6 農産物販売金額規模別農業経営体数の増減率（群馬県）

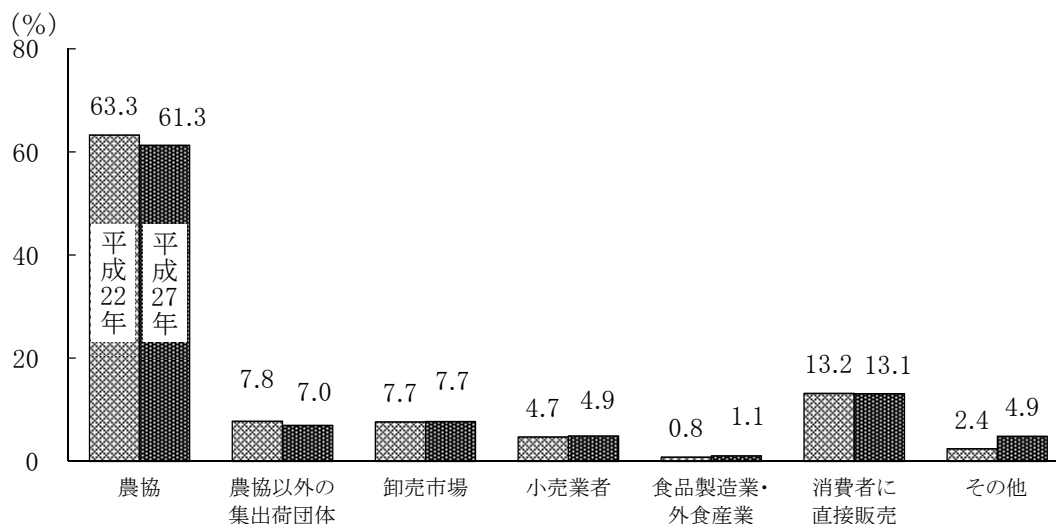


(6) 農産物売上金額 1 位の出荷先別にみた農業経営体数の状況

農産物売上金額 1 位の出荷先別に農業経営体数の構成割合をみると、農協が 61.3% となり、次いで消費者に直接販売が 13.1%、卸売市場が 7.7% となった。

また、5 年前に比べて、食品製造業・外食産業、小売業者で、それぞれ、0.3 ポイント、0.2 ポイント増加した。

図 7 農産物売上金額 1 位の出荷先別農業経営体数の構成割合（群馬県）

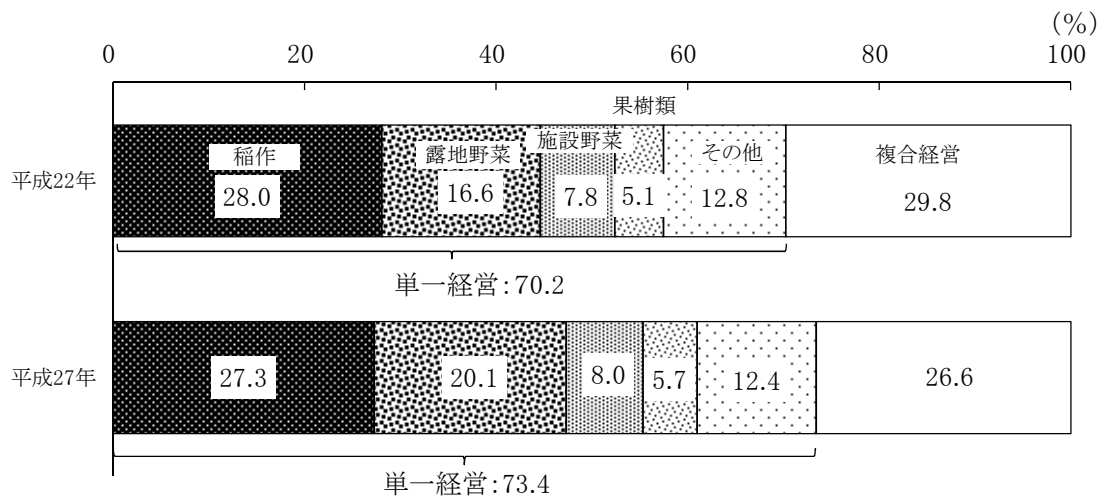


(7) 農業経営組織別にみた農業経営体数の状況

農業経営組織別に農業経営体数の構成割合をみると、単一経営が 73.4% となり、5 年前に比べて 3.2 ポイント増加した。

また、5 年前に比べて稲作単一経営は 0.8 ポイント減少し、露地野菜単一経営は 3.5 ポイント、施設野菜単一経営は 0.2 ポイント、果樹単一経営は 0.6 ポイント増加した。

図 8 農業経営組織別農業経営体数の構成割合（群馬県）



注：単一経営とは、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が 8 割以上の経営体をいう。

(8) 農業生産関連事業の状況

農産物の直接販売や加工などの農業生産関連事業を行う農業経営体数は5,186経営体で、5年前に比べて21.0%減少した。

表4 農業生産関連事業を行う農業経営体数（群馬県）

区分	農業生産 関連事業 を行っている 実経営体	事業種類別（複数回答）					
		農産物 の加工	消費者に 直接販売	貸農園・ 体験農園等	観光 農園	農家 民宿	農家 レストラン
		平成22年	6,563	610	6,205	82	487
27	5,186	502	4,968	45	342	35	39
増減率(%)	△ 21.0	△ 17.7	△ 19.9	△ 45.1	△ 29.8	2.9	69.6

また、消費者への直接販売を除く農業生産関連事業収入規模別に農業経営体数をみると、1,000万円以上層は全体の11.5%となっている。

表5 農業生産関連事業収入（「消費者に直接販売」を除く）  
規模別の農業経営体数（群馬県）

区分	計	100万円未満	100～500	500～1,000	1,000～ 5000	5000万～ 1億円	1億円以上
平成27年	851	421	253	79	74	13	11
構成割合(%)	100.0	49.5	29.7	9.3	8.7	1.5	1.3



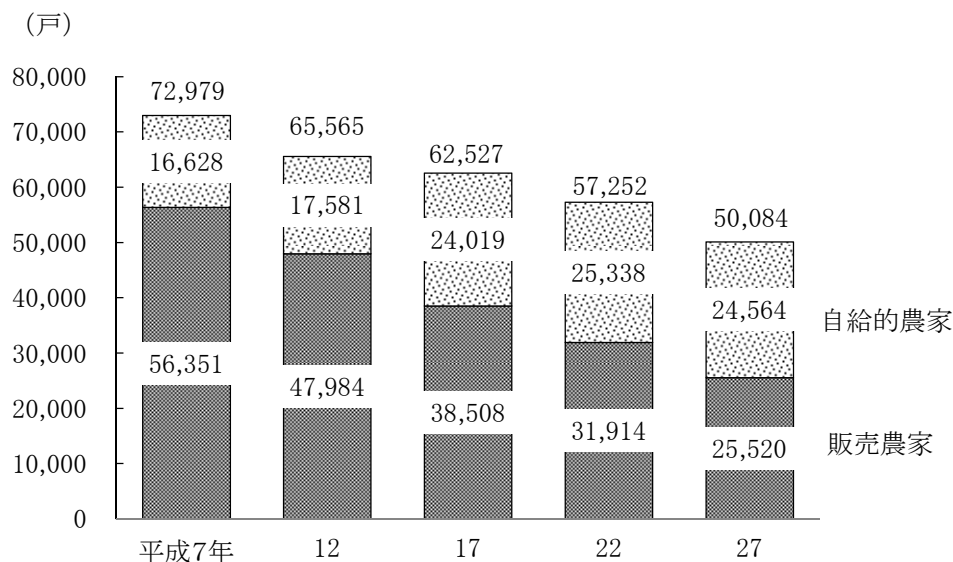
### 3 農家

#### (1) 農家数

農家数は50,084戸で、5年前に比べて7,168戸（12.5%）減少した。

このうち、販売農家数は25,520戸、自給的農家数は24,564戸となり5年前に比べてそれぞれ20.0%、3.1%減少した。

図9 農家数の推移（群馬県）

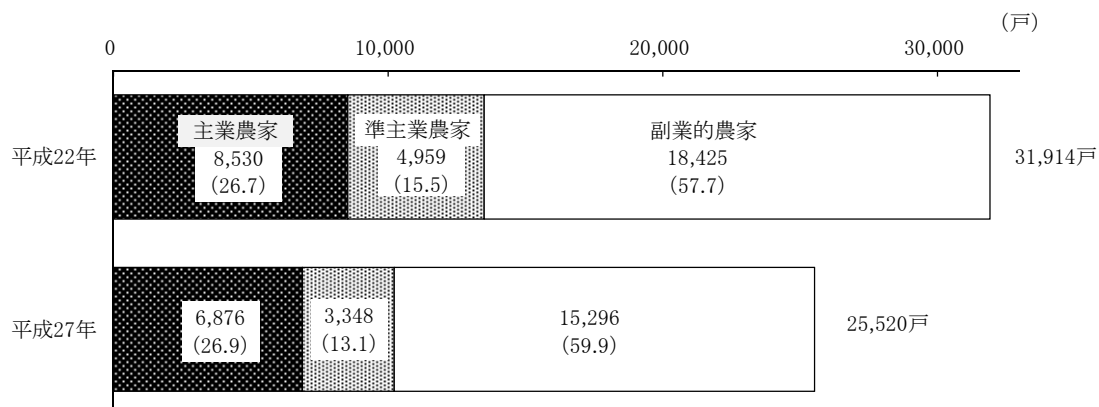


#### (2) 主副業別農家数（販売農家）

販売農家を主副業別にみると、主業農家は6,876戸で5年前に比べて1,654戸（19.4%）の減少、準主業農家は3,348戸で1,611戸（32.5%）の減少、副業的農家は15,296戸で3,129戸（17.0%）の減少となった。

この結果、販売農家数に占める割合は、主業農家が26.9%、準主業農家が13.1%、副業的農家が59.9%となった。

図10 主副業別農家数（群馬県）



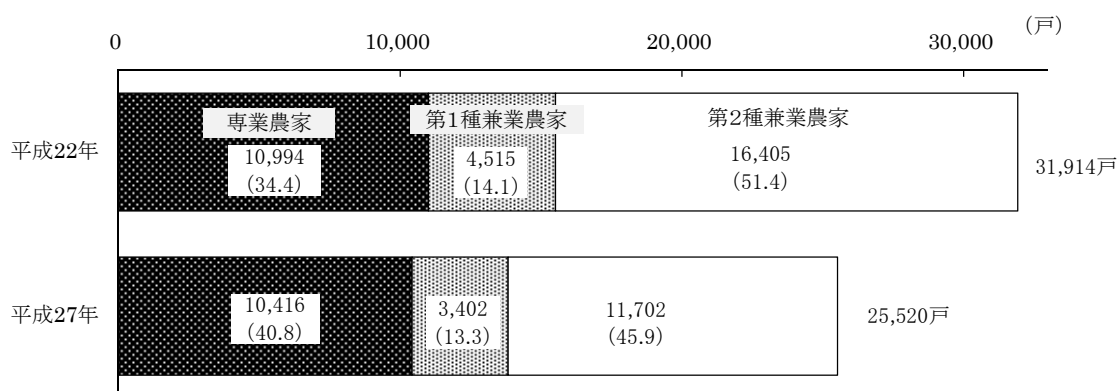
注：（ ）内の数値は販売農家計に占める割合である。

(3) 専業別農家数（販売農家）

販売農家を専業別にみると、専業農家は10,416戸で5年前に比べて578戸（5.3%）の減少、第1種兼業農家は3,402戸で1,113戸（24.7%）の減少、第2種兼業農家は11,702戸で4,703戸（28.7%）の減少となった。

この結果、販売農家数に占める割合は、専業農家が40.8%、第1種兼業農家が13.3%、第2種兼業農家が45.9%となった。

図11 専業別農家数（群馬県）



注：（ ）内の数値は販売農家計に占める割合である。

(4) 経営方針の決定に関わっている者の状況別農家数（販売農家）

販売農家における経営者の男性の占める割合は94.2%、女性は5.8%となった。また、女性が経営者又は経営方針の決定に関わっている割合は45.9%となった。

表6 経営方針の決定に関わっている者の状況別農家数の割合（群馬県）

		単位：%
区 分		構成割合
販売農家数		100.0
経営者が男性の農家		94.2
	経営者以外で経営方針の決定に関わっている者がいる農家	44.5
	男女が経営方針決定に関わっている農家①	6.5
	経営方針の決定に関わっているのは男性だけの農家	4.4
	経営方針の決定に関わっているのは女性だけの農家②	33.6
経営者以外で経営方針の決定に関わっている者がいない農家		49.8
経営者が女性の農家③		5.8
	経営者以外で経営方針の決定に関わっている者がいる農家	1.9
	男女が経営方針決定に関わっている農家	0.3
	経営方針の決定に関わっているのは男性だけの農家	1.4
	経営方針の決定に関わっているのは女性だけの農家	0.3
経営者以外で経営方針の決定に関わっている者がいない農家		3.8
女性が経営方針の決定に関わっている(=①+②+③)		45.9

#### 4 労働力

##### (1) 農業従事者（販売農家）

販売農家の農業従事者（自営農業に1日以上従事した者）は61,591人で、5年前に比べて26.9%減少した。

表7 農業従事者（群馬県）

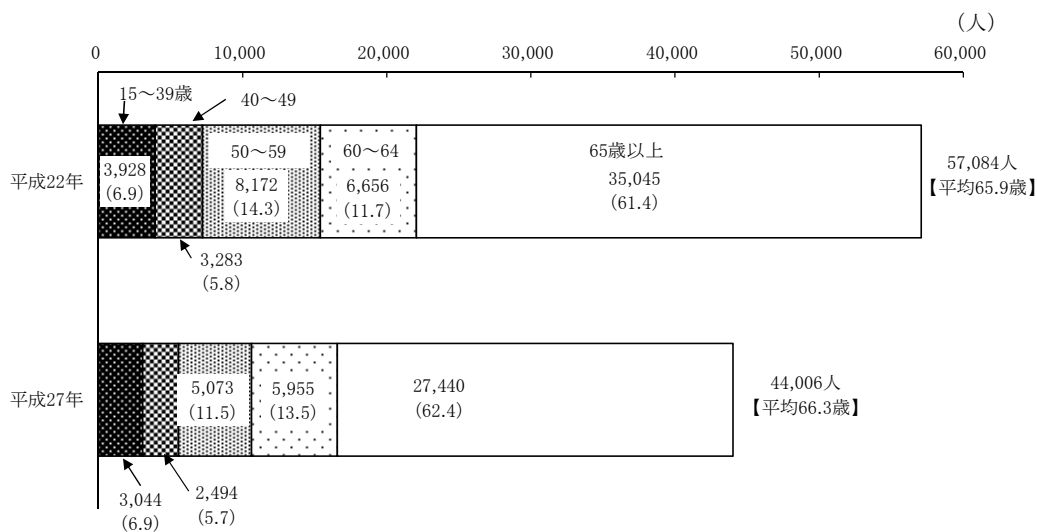
単位:人			
区分	農業従事者	農業就業人口	基幹的農業従事者
22	84,276	57,084	45,304
27	61,591	44,006	37,917
増減率(%)			
平.27/22	△ 26.9	△ 22.9	△ 16.3

##### (2) 農業就業人口（販売農家）

販売農家の農業就業人口は44,006人で、5年前に比べて13,078人（22.9%）減少した。

この結果、農業就業人口の平均年齢は66.3歳となり、65歳以上が占める割合は62.4%となった。

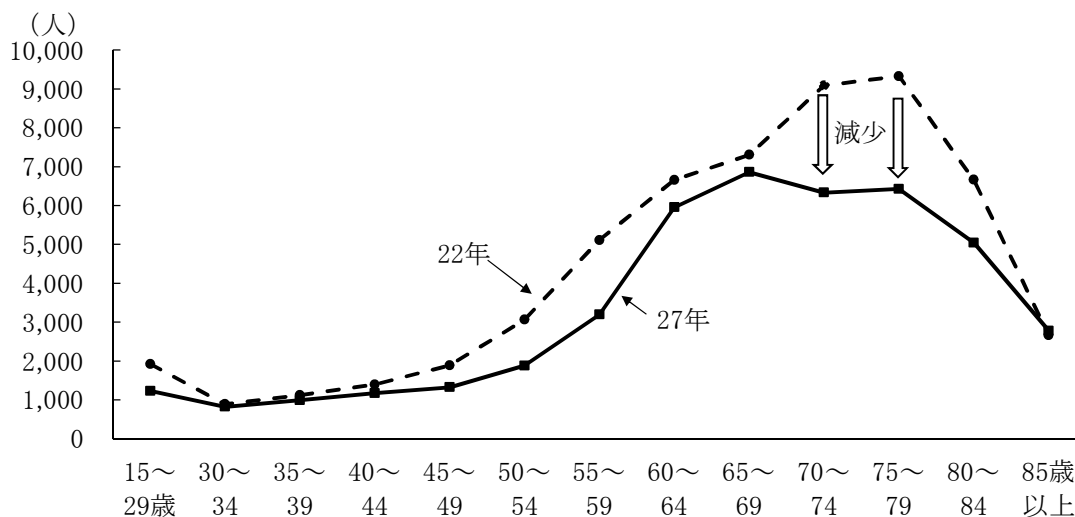
図12 年齢別農業就業人口の構成（群馬県）



注：（ ）内は農業就業人口に占める割合、【 】内は平均年齢である。

年齢階層別に農業就業人口の推移をみると、5年前と比べて85歳未満の各層で減少しており、70～74歳及び75～79歳の各層で大きく減少した。

図13 年齢別農業就業人口の推移（群馬県）

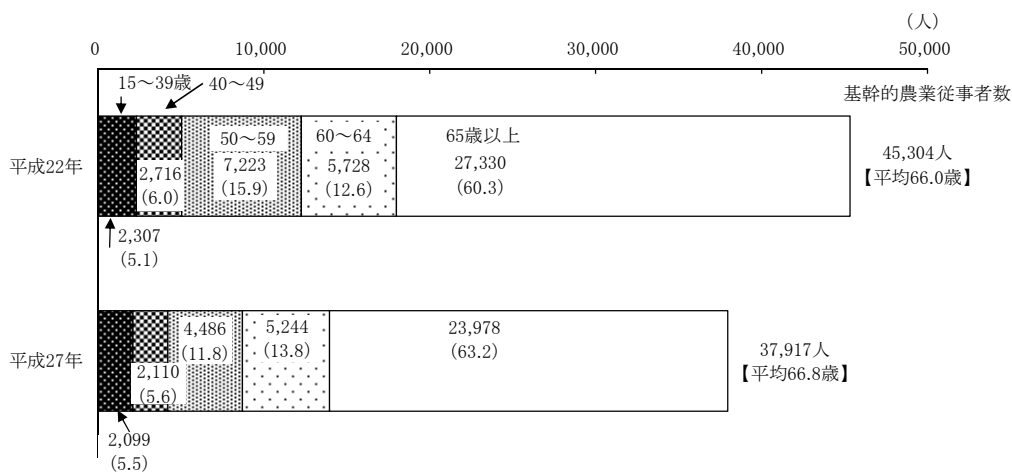


(3) 基幹的農業従事者（販売農家）

販売農家の基幹的農業従事者は37,917人で、5年前に比べて7,387人（16.3%）減少した。

この結果、基幹的農業従事者の平均年齢は66.8歳となり、65歳以上が占める割合は63.2%となった。

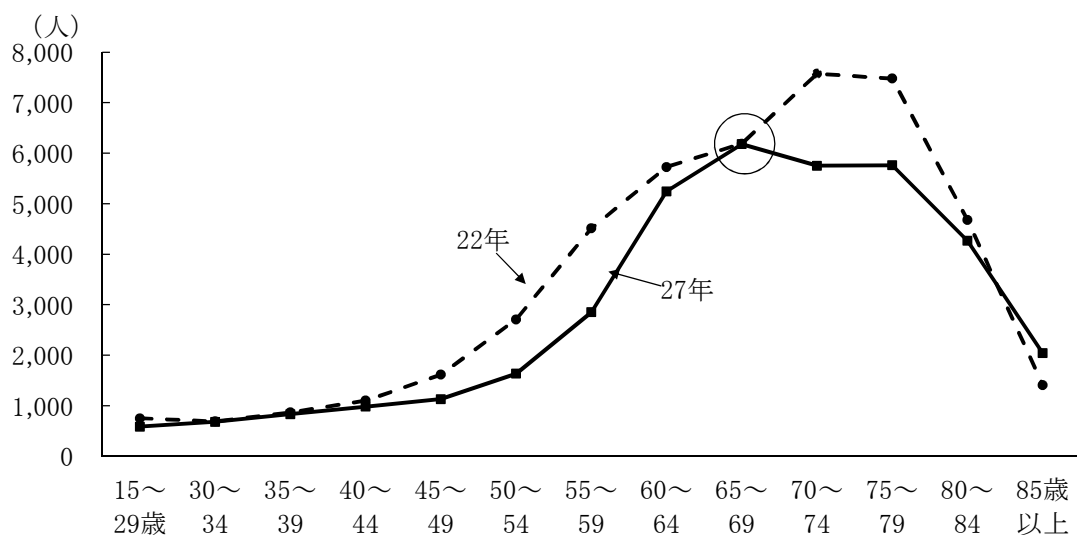
図14 年齢別基幹的農業従事者数の構成（群馬県）



注：（ ）内は基幹的農業従事者に占める割合、【 】内は平均年齢である。

年齢階層別に基幹的農業従事者の推移をみると、5年前と比べて80歳未満の各層が大きく減少する中で、65～69歳層は、ほぼ横ばい（0.2%減少）となった。

図15 年齢別基幹的農業従事者数の推移（群馬県）



(4) 経営者・役員等（集落営農の構成員を含む）の農業経営への従事状況（組織経営体）

組織経営体の経営者・役員等で、過去1年間に農業経営に従事した人数は4,854人で、5年前に比べて1.9%増加した。

このうち、過去1年間に150日以上農業経営に従事した人数は2,414人で95.5%増加した。

表8 経営者・役員等（集落営農の構成員を含む）の農業経営への従事状況（群馬県）

区分	計	年間従事日数				単位:人
		1～59日	60～99	100～149	150日以上	
		22	4,763	2,600	400	
27	4,854	1,479	569	392	2,414	
増減率(%)						
平.27/22	1.9	△43.1	42.3	△25.8	95.5	

(5) 雇用労働（農業経営体）

農業経営体の常雇いは6,350人で、5年前に比べて62.0%増加した。

また、臨時雇い（手伝い等を含む。）は25,401人で23.8%減少した。

この結果、雇用労働総のべ人日は16.2%増加した。このうち、組織経営体では、常雇いのべ人日の割合は85.3%となっている。

表9 農業経営体における雇用労働（群馬県）

区分		常雇い		臨時雇い (手伝い等を含む。)		雇用労働 総のべ人日 ③=①+②	常雇いの のべ人日割合 ①/③
		人数	のべ人日 ①	人数	のべ人日 ②		
		人	人日	人	人日	人日	%
平成22年 27	農業経営体	3,919	848,518	33,336	840,079	1,688,597	50.2
	農業経営体	6,350	1,288,534	25,401	674,429	1,962,963	65.6
	家族経営体	3,389	661,136	23,326	566,169	1,227,305	53.9
	組織経営体	2,961	627,398	2,075	108,260	735,658	85.3
増減率(%)							
平成27年/22年	農業経営体	62.0	51.9	△ 23.8	△ 19.7	16.2	
	家族経営体	70.0	60.3	△ 26.0	△ 24.4	5.7	
	組織経営体	53.8	43.9	13.6	18.6	39.5	

また、常雇いを年齢階層別にみると、45歳未満が48.1%を占めている。

表10 常雇いの年齢別人数（群馬県）

区分		計	15～24歳	25～34	35～44	45～64	65歳以上
常雇い人数	(人)	6,350	421	1,430	1,205	2,105	1,189
構成割合	(%)	100.0	6.6	22.5	19.0	33.1	18.7

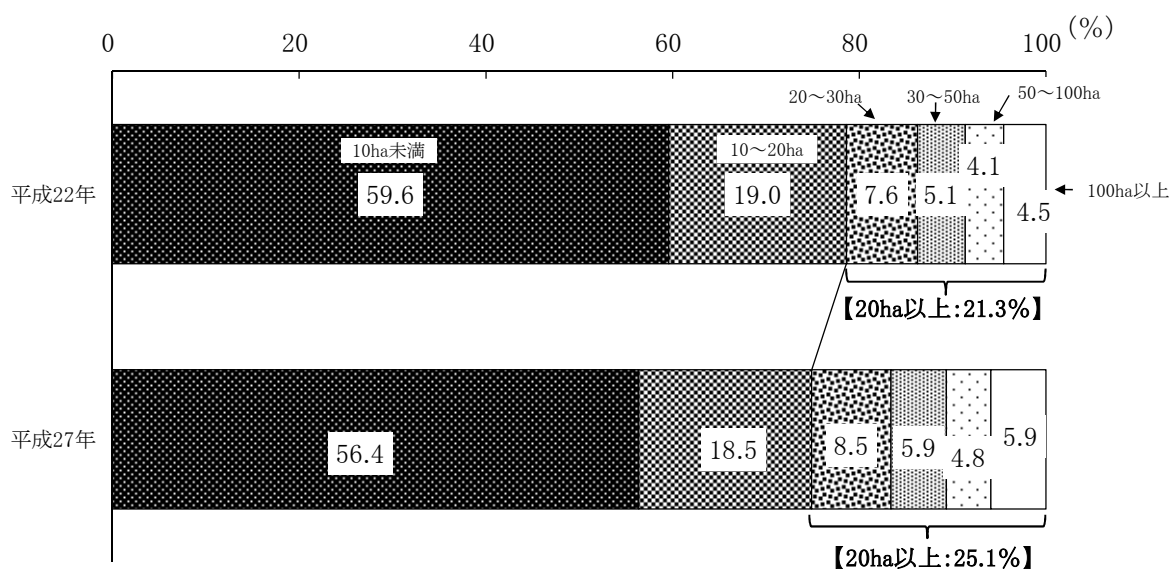
#### 4 林業経営体

##### (1) 保有山林面積規模別林業経営体数の構成割合

保有山林面積規模別に林業経営体数の構成割合をみると、10ha未満が56.4%、次いで10～20haが18.5%、20～30haが8.5%となった。

この結果、5年前に比べて、20ha以上の各層で構成割合が高くなっている。

図 16 保有山林面積規模別林業経営体数の構成割合（群馬県）



##### (2) 林業経営体当たりの保有山林面積の状況

保有山林のある林業経営体の1経営体当たりの保有山林面積は44.6haで、5年前に比べて10.6ha（31.0%）増加した。

図 17 林業経営体当たりの保有山林面積（群馬県）

